

第 24 回地球環境シンポジウム

土木学会 & 水文・水資源学会共催シンポジウム

日時：9月1日(水)15:00～17:30

場所：首都大学東京 南大沢キャンパス 国際交流会館

【主 旨】

我が国においては、大雨や短時間強雨の発生頻度が増加し、大雨による降水量が増大するなどの極端な雨の降り方が現実には起きている。それを象徴するかのように昨年（平成 27 年）9 月には栃木県・茨城県を流れる鬼怒川で堤防決壊・溢水が発生し、広範囲の洪水氾濫が発生した。今後、気候変動によりこのような水害の発生頻度が予測されることから、早急に水災害分野における気候変動適応策を進める必要がある。

これまで、土木学会地球環境委員会および水文・水資源学会では、地球温暖化によって懸念される水害や水資源といった水にかかわる問題に対し、学術的な観点から調査研究を進めてきた。本シンポジウムは、今後深刻化すると予想される水害への対応について、両学会が連携し、行政サイドや研究サイドの現状や課題を学会員はもとより実務者や一般市民に対し広く情報提供することで、多くの方々が問題意識を持って取り組むきっかけにしていきたいと考える。

【プログラム】

- 15:00～15:05 開会挨拶
首都大学東京教授 河村明氏（第 24 回地球環境シンポジウム 実行委員長）
- 15:05～15:35 水災害分野における気候変動等への対応にむけた行政の取り組み
国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画調整室長 中込淳氏
- 15:35～16:05 気候変動適応策と空間計画
芝浦工業大学 システム理工学部 教授 中村仁氏
- 16:05～17:05 地域を知り、防災を考えるー最近の豪雨災害事例から学ぶことー
静岡大学 防災総合センター 教授 牛山素行氏
- 17:05～17:30 総合討論
（コーディネーター）中央大学 理工学部 教授 山田正氏
- 17:30 閉会

以上